

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取西部） 3月号

① J A 鳥取西部のトリセツ制作。就職説明会で活用

J A 鳥取西部は2月1日、新採用の就職説明会や支所窓口、直売所、イベントなどで活用する「J A 鳥取西部のトリセツ（取扱説明書）」を、J A 共済連の地域・農業活性化促進助成金を利用して2万部作成した。写真を大きく、各事業紹介や直売所、管内マップなどを掲載し、J A の利用方法を簡潔に紹介している。

紙面で伝えきれない情報はスマートフォン等でQRコードを読み込むと公式ホームページに誘導していく。



② セブン - イレブン向け大山ブロッコリー前年同期比3倍増

J A 鳥取西部におけるコンビニ最大手セブン - イレブン向け2021年産「大山ブロッコリー」の出荷量1月末現在で前年同期比3倍の11.2t となった。

J A の大山青果物集出荷予冷センターには連日、鮮度保持袋に入った2L以上の大山ブロッコリーが専用コンテナで持ち込まれる。出荷した大山ブロッコリーはサラダの具材などに使われ、全国の店頭に並ぶ。



③ 秋冬ネギ終盤

J A 鳥取西部管内では、2021年産秋冬ネギの出荷が終盤を迎えた。J A 白ネギ共同選果場では、連日持ち込まれる秋冬ネギの選果・箱詰め作業が行われている。

21年産秋冬ネギの実績は1月31日現在で、65万6472箱（1箱3キロ）、販売金額は6億8667万円。夏場の大雨の影響で11月の出荷量が落ち込んだが、天候の回復や生産者の努力で前年同期より約1万5000箱上回る出荷となっている。



④ 葉タバコ廃作生産者を支援

J A鳥取西部は2月10日、葉タバコを廃作する生産者を対象に、葉タバコ廃作次期作物支援説明会を開いた。

廃作する生産者に、葉タバコの代わりに栽培できる作物の情報を提供することで、スムーズな転作や安定した農業経営をサポートする。



以上